

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.25

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

新年のご挨拶

一般社団法人青森県畜産協会
会長 渡部 毅

年の初めにあたりご挨拶申し上げます。

日頃より、会員の皆様及び関係者の皆様には協会業務の推進につきまして多大な御支援、御協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

世間では、アベノミクスによる景気回復が取りざたされておりますが、皆様にはTPP（環太平洋連携協定）交渉の最大の焦点である農産物の重要5項目の関税の取り扱いが不透明なまま、不安を抱えつつ新年を迎えられた方も多いのではないかと拝察しております。また、国内的には減反政策の見直しが平成26年度から始まり、畜産農家にとっても看過できない大きな国の政策転換であり、飼料費のコスト低減につながる絶好の機会ととらえ畜産経営に取り組みなくてはならない課題と認識するところであります。

もとより、協会としては各種畜産経営支援策に積極的に参加し、農家支援を最大の使命とし職員一丸となって取り組んで参りますので、皆々様の更なる御協力を賜りますようお願いするものです。

協会運営につきましても、平成25年4月からは新公益法人制度改革により一般社団法人への移行を済ませ、業務の一層の多角化による法人経営を目指し職員のスキル向上に努めて参る所存でございますことを申し上げ新年の挨拶とします。

平成26年 初セリ

新年の1月10日、七戸町の青森県家畜市場で初セリが開催された。

青森県畜産農業協同組合連合会 山内会長の新年のあいさつ、畜産協会 渡部会長の乾杯に続いて恒例の餅まきが行われ、場内の生産者や購買者から歓声があがった。

子牛489頭が上場されたこの日の成績は、黒毛和種の平均価格が51万8千円で前年同期より約7万円上回った。市場関係者によると、子牛高値傾向は以降も続くとみられている。



生産者補てん金 交付状況

1.肉用子牛生産者補給金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		320,000円	292,000円	209,000円	122,000円	188,000円
合理化目標価格		273,000円	251,000円	144,000円	86,000円	142,000円
平成25年度 第3四半期 (10月～12月)	平均売買価格	538,900円	447,000円	320,400円	144,900円	333,500円
	交付単価	-	-	-	-	-
	交付額	-	-	-	-	-

2.肉用牛繁殖経営支援事業支援交付金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準		410,000円	350,000円	250,000円
保証基準価格		320,000円	292,000円	209,000円
平成25年度 第3四半期 (10月～12月)	平均売買価格	538,900円	447,000円	320,400円
	交付単価	-	-	-
	交付額	-	-	-

3.肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）補填金交付単価

	肉専用種	交雑種	乳用種	交付日
平成25年10月期	-	40,000円	41,700円	12月24日
平成25年11月期	-	14,200円	41,400円	1月24日
平成25年12月期	-	6,900円	45,300円	2月24日

4.養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	平均粗収益	平均生産コスト	補てん金単価
平成25年度 第1～3四半期 (4月～12月)	37,161円/頭	35,727円/頭	0円/頭

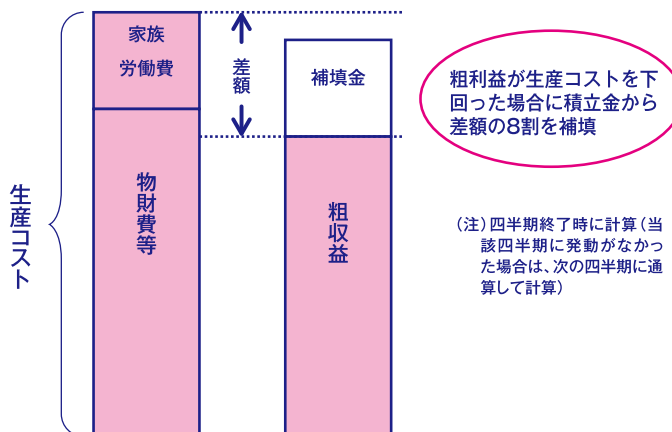
養豚経営安定対策事業 補填金算出のしくみ

養豚経営安定対策事業の補填金は、四半期ごとに生産コストと粗収益を算出し、その差額の8割を補填する事業です。

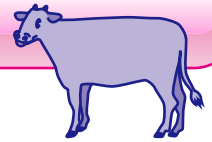
ただし、補填金交付がなかった場合は、次の四半期に通算して計算することとなっています。

このため、今年度まだ一度も補填金が交付されていない今回は、4月から12月まで通算して生産コストと粗収益が算出されています。

今回も補填金の交付はなかったため、次回も通算して算出されることとなり、4月から3月まで1年間の生産コストと粗収益が計算され、補填金の単価が決定することとなります。



青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表

【開催日 26年1月10日】 <速報値>

1、販売価格 税込み 【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	270	819,000	15,750	570,733	289	308	1,851	324	575,731	1,875	-24
	雌	208	749,700	24,150	449,859	298	281	1,602	245	462,369	1,638	-36
	【小計】	478	819,000	15,750	518,135	292	296	1,748	569	526,919	1,778	-30
日本短角種	雄											
	去	3	286,650	270,900	279,650	243	252	1,110	7	252,450	1,075	35
	雌	3	290,850	254,100	270,200	262	247	1,095	8	261,450	1,104	-9
	【小計】	6	290,850	254,100	274,925	253	249	1,103	15	257,250	1,090	13

・黒毛和種の取引頭数は478頭で、前回より去勢54頭減、雌37頭減、全体で91頭減となった。
 ・黒毛和種の平均価格は518千円で、前回より去勢5千円安、雌13千円安、全体で9千円安となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み 【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	104	587,384	309	1,900	288	70	442,755	282	1,572	301	174	529,200	1,775	294	36.4
優福栄	24	544,031	305	1,787	281	23	445,520	278	1,601	293	47	495,823	1,700	287	9.8
安茂勝	24	512,794	304	1,687	287	22	453,314	294	1,544	300	46	484,347	1,620	294	9.6
安福久	18	576,333	310	1,862	303	4	573,300	272	2,108	294	22	575,782	1,902	302	4.6
百合茂	11	686,700	334	2,058	287	9	501,317	284	1,765	294	20	603,278	1,938	290	4.2
芳之國	9	543,667	293	1,854	298	9	449,867	263	1,708	310	18	496,767	1,785	304	3.8
総合計	270	570,733	308	1,851	289	208	449,859	281	1,602	298	478	518,135	1,748	292	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花園」で36.4%、次いで「優福栄」9.8%となった。
 ・第1花園の平均価格は529千円で、前回に比べ23千円安となった。単価は1,775円で前回より67円安となった。

【開催日 26年2月7日】 <速報値>

1、販売価格 税込み 【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	301	813,750	67,200	560,505	293	308	1,823	269	570,197	1,849	-26
	雌	204	780,150	254,100	456,338	302	282	1,621	208	449,859	1,602	19
	【小計】	505	813,750	67,200	518,426	296	297	1,745	477	517,723	1,747	-2
和牛間交雑	雄											
	去	1	256,200	256,200	256,200	298	297	863				
	雌	1	210,000	210,000	210,000	286	268	784				
	【小計】	2	256,200	210,000	233,100	292	283	825				
日本短角種	雄											
	去	2	250,950	226,800	238,875	277	289	827	3	279,650	1,110	-283
	雌								3	270,200	1,095	
	【小計】	2	250,950	226,800	238,875	277	289	827	6	274,925	1,103	-276

・黒毛和種の取引頭数は505頭で、前回より去勢32頭増、雌は4頭減、全体で28頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は518千円で、前回より去勢10千円安、雌6千円高、全体で703円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み 【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	114	566,963	310	1,830	293	88	447,968	282	1,586	303	202	515,124	1,729	297	40.0
安茂勝	32	576,319	313	1,839	292	26	451,298	290	1,559	302	58	520,275	1,719	296	11.5
優福栄	25	510,678	305	1,675	287	13	440,919	281	1,570	307	38	486,813	1,641	294	7.5
安福久	17	552,238	303	1,825	294	9	581,350	275	2,111	307	26	562,315	1,918	298	5.2
百合茂	15	655,480	325	2,018	298	4	578,288	290	1,994	313	19	639,229	2,013	301	3.8
北乃大福	7	587,550	302	1,946	291	11	504,859	281	1,794	302	18	537,017	1,856	298	3.6
総合計	301	560,505	308	1,823	293	204	456,338	282	1,621	302	505	518,426	1,745	297	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花園」で40.0%、次いで「安茂勝」11.5%となった。
 ・第1花園の平均価格は515千円で、前回に比べ14千円安となった。単価は1,729円で前回より46円安となった。

次回開催日は3月7日（金）です。

平成25年度 畜産フェア（競馬ファン感謝—県産畜産物配付）

平成25年11月4日（振替休日・月）に盛岡競馬場において、県産畜産物の消費拡大と競馬ファン拡大による競馬振興のため岩手県、秋田県、福島県、青森県の4県合同による畜産フェアを開催し、各県の畜産物を来場者1,500名に配付した。

本県は「シャモロックの燻製」とポケットティッシュ、シャモロックパンフレット、短角牛パンフレットの200セットを入場時に引換券を配付し、午後1時から競馬場内の特設テントで交換を行い入場者から好評を得ました。



第11回放牧サミット開催される（沖縄県石垣市）

第11回放牧サミットが「放牧を实践して低コスト・高所得経営を実現しよう」をスローガンに平成25年11月26日から27日の2日間沖縄県石垣市で開催されました。同サミットは毎年各地で開催され、平成22年には石垣市で予定されていたが同年宮崎県で発生した口蹄疫、翌23年の東日本大震災の余波を受け、伸び伸びになっていたものであり3年ぶりの開催である。

輸入飼料価格の高騰や原油価格の高値推移など畜産経営には厳しい状況が続いている中、国民は安全で安心な畜産物を求めており草を中心とした牛肉生産は多くの消費者から理解を得るものとなっている。沖縄県、特に石垣島を中心とする八重山諸島では黒毛和種の繁殖経営が盛んであり、近年、サトウキビ生産を抜いて肉牛が農業生産額第1位となっている。また、石垣市では平成24年度に新空港が開設され、観光客が前年の3倍ほど来島していることもあり石垣牛のブランド化を目指すなど島内一貫生産による肥育経営にも力を入れている。同地域は温暖な気候の中周年放牧による子牛生産であり、分娩も通常は自然分娩であり、特別な施設は農家にはない。事例発表の農家によると生産費は全国平均より10万円程度安く生産出来るとしており放牧による飼料コストの低減が可能となっている。なお、観光客の増加に伴い、石垣島内での肥育牛生産だけでは需要に追いつかない（現在は年間700頭）ことから石垣市では1,000頭処理出来る施設を平成27年を目途に建設することとしている。また石垣市内は焼肉店の看板がやたらと多い印象です。

◆ 講演・事例発表 ◆

1. 「南西諸島の放牧による低コスト生産」
琉球大学農学部 川本 康博
2. 「放牧を活用した肉用牛繁殖経営」
長崎県県央復興局 井上 裕行
長崎県農林技術開発センター 深川 聡
3. 「肉用牛放牧における繁殖・子牛管理について」
九州沖縄農業研究センター 竹之内直樹
4. 「おおい型放牧のすすめ」
大分県(有) 富貴茶園 永松 英治

◇ 現地検討会 ◇

1. 石垣牛生産牧場組合元名蔵牧場
(共同肉用牛繁殖牧場)
2. 宮良牧場 (肉用牛繁殖経営)



六戸名物!!シャモロック千人鍋 今年も開催

11月2日～3日、六戸町においてメイプルタウンフェスタ2013が開催された。この祭事は、六戸町とその近隣の特産物の販売や、町民がこぞって参加するマラソン、子供向けの仮面ライダーショーなど様々なイベントが催され、2日間で約3万人が来場している。その中で毎年恒例なのが、六戸シャモロック生産組合が行う「シャモロック千人鍋」だ。シャモロックの味わいある肉が楽しめるほか、たっぷりの鶏ガラでとった濃厚スープと六戸の地場野菜の鍋が味わえる。この日は毎年1杯200円のご奉仕価格で販売され、長蛇の列が出来ていた。毎年食べに来ていたという来場者も多く、地元根付いた鍋になりつつある。当日は、シャモロックの正肉販売も行われ、自宅でも食べてみようという購入して行く人も見られた。千人鍋は2日間実施され、2,000食全て完売であった。



青森シャモロックのカレーはいかが?あおもりカレーまつり開催

県特産畜産物である青森シャモロックの消費拡大を目的としたセールスプロモーションを実施した。

1月11日～13日の3日間、青森県観光連盟が主催する「あおもりカレーまつり2014」に参加し「青森シャモロックの濃ダシCurry」を1皿300円で提供し、3日間で合計356皿を売り上げた。また、シャモロックに関するパンフレットを配布するなどPRも行った。会場には28種類のカレーやカレーパンなどが販売され、全体で8,000皿を売り上げる盛況ぶりだった。

青森シャモロックのカレーは、ガラを12時間煮込んでとった濃厚なダシが楽しめるカレーで、青森市の焼鳥店「ミドリヤ」と合同で提供した。食べた人からは「鶏の旨みが出ていて美味しい」と好評であった。



経営セミナー開催

平成25年度畜産経営支援体制確立事業に係る経営セミナーを平成25年12月17日(火)野辺地町のJAゆうき青森らくのう支所で52名の出席をいただき開催した。講師は酪農学園大学須藤純一特任教授で「良質粗飼料生産で儲かる畜産経営へ」と題し、生産方式の相違による経営への影響について経営分析による総合的な検討を行い、さらに自給飼料の養分分析からその問題点と肥培管理・飼料給与の改善方向について講演をいただいた。



第7回 あおもり堆きゅう肥品評会



12月20日、堆肥品評会の表彰式が青森市で開催された。今年の出産堆肥は土づくり系堆肥部門15点、肥料系堆肥部門10点の合わせて25点で、最も良質な堆肥を作った生産者に贈られる知事賞は、六ヶ所村有機堆肥センターが受賞した。また土づくり系と肥料系も各3名が優秀賞を受賞した。審査講評では、審査員長の十和田おいらせ農業協同組合の斗澤康広やさい課長が、「あおもり堆きゅう肥品評会も7回目を数え、出品される堆きゅう肥の製品は、耕種農家が安心して安全に使用できる堆きゅう肥の出品が多くなってきたことは、非常に喜ばしいことであり、出品された皆様の卓越した生産技術に敬意を表します。」と出品者たち

を称えた。会場には受賞堆肥の展示も行った。

当日は県主催の安全・安心な農産物生産推進大会と共催で開催し、農研機構の横山和成上席研究員による「安全・安心な農産物を育てる良い土とは」と題した講演会や土づくりの匠認定式なども行われ、会場には約180名が出席した。

【第7回あおもり堆きゅう肥品評会 受賞者】

知事賞	六ヶ所村有機堆肥センター（六ヶ所村）
土づくり系堆肥部門 優秀賞	六ヶ所村有機堆肥センター（六ヶ所村）
	木立牧場（平内町）
	一般社団法人東通村産業振興公社（東通村）
肥料系堆肥部門 優秀賞	有限会社 フレッグ農産（蓬田町）
	有限会社 つがる（黒石市）
	有限会社 宮崎養鶏場（八戸市）

◆六ヶ所村有機堆肥センター◆



【価格】

- ※村民は半額補助あり
- ①3,150円／m³
- ②399円／12kg袋
- ③357円／8kg袋

【審査員が評価した点】

- ・丁寧に篩がけされた堆肥は非常にさらさらとしていて撒きやすい
- ・品質の良さは近隣の耕種農家に高く評価され、利用されている
- ・地域の耕畜連携に貢献している

《連絡先》青森県六ヶ所村大字倉内字芋ヶ崎666-1 ☎0175-74-3811

豚肉生産者とシェフの意見交換会 開催

平成26年1月19日、青森市のレストラン「エヴィエ」にて、豚肉生産者とシェフの意見交換会が開催された。

畜産農家の多い上北地区で今後を期待される若手豚肉生産者と、青森市内でレストランやラーメン店等の店舗を構えるシェフの他、肉の流通業者等を加え、青森県豚肉の消費拡大について活発な意見交換が行われた。

この会では、実際に生産者の豚肉を食べながらシェフに生産者個々の豚肉をアピールしたほか、シェフが店舗で料理を提供する際に望まれる豚肉の話なども生産者へ伝えられた。

参加者からは非常に好評で、今回をきっかけとしてより深い話ができるよう継続開催してほしいとの声が多く寄せられた。



青森県はちみつ品評会 開催

平成25年12月25日、青森県畜産課、青森県畜産協会、青森県養蜂協会の役員等、計12名の審査員ではちみつ品評会 審査会が開催された。

県内初めての開催となる今回は、アカシアの部・トチの部・その他の部の3部門に出品があった。

審査は、部門別に糖度・色沢・風味の合計点数で順位を決定し、合計点数が同点の場合は、糖度が高いものが上位とされた。

また各部門の最優秀賞には特別賞が授与されることとなり、今年はアカシアの部の最優秀賞に青森県知事賞を、トチの部の最優秀賞に県畜産協会長賞を、その他の部の最優秀賞に県養蜂協会長賞が授与されることとなった。

今回の受賞者は以下のとおりで、平成26年1月24日に開催された青森県養蜂協会通常総会内で表彰式が行われた。



	アカシアの部	トチの部	その他の部（蜜源花）
最優秀賞 (特別賞)	赤坂 憲一 (青森県知事賞)	鳥谷部 学 (県畜産協会長賞)	澤谷 昭四郎(うつぎ) (県養蜂協会長賞)
優秀賞	赤城 友喜	澤谷 昭四郎	—
優良賞	岡 護	赤坂 憲一	一二三 ゆう子(ふじ)

畜産事情

正月の牛飼い達

正月といっても牛飼い達には休みがない。毎日の給餌、糞の片付け、発情の見極め、お産の心配など気の抜く暇はない。皆んな正月気分楽しくやっている時に一時の気の緩みもゆるされない。特に分娩予定日のものがあれば、飲みすぎるわけにもいかない。ほろ酔い気分寒い牛舎の中にとむなしさを感じることがある。だからこそ、もっと生産性をあげ、大きな夢を持つようにしなければならないと思うのである。「辛くても、今にみている、金メダル」自分の経営のオリンピックを成功させよう。

もっと妊娠牛を大事にして

分娩の最後の「つめ」をあやまって胎児を死に至らしめることがある。広いところで、のんびりと。ストレスを与えないようにと言っているのだが、あまりにも環境を悪くして事故を起こしている。「他の牛はなんともないのに、この牛はどうして」という声を聞くのだが、そのほかの牛だってギリギリの生活に耐えていることを知るべきである。牛は文句は言えないのだから、わが子と思って、もっと大事に飼ってもらいたいものである。死産、虚弱胎児など妊娠牛の粗末な飼育方によって犠牲になっているものが、なんと多いことか「たかが牛、死んでも心、動かさず」こんなことでは絶対に儲ける牛飼いにはなれない。

1月の家畜市場

雪が少なくて過ごしやすかったと思ったら、市場当日は横殴りの吹雪で前が見えない状態にノロノロ運転、市場に来る人たちは、いつもより時間がかかったことだろう。今年初めての子牛市場、それにしては新年の華やかさもなくて淡々としている。牛を管理するにはきれいごととは言ってはられないのだが、新年の最初の競りである、和服姿のきれいどころが、競り場のひな壇に、1人、2人、座っていたら、盛り上がりを見せただろうなあ、と思った。それにしても新年早々だというのに、牛の汚れのひどいもの、栄養状態が今一のもの、体型的にも背幅、肩後の狭いもの、尻だけが丸味を帯びた豚尻のもの、育成牛としては、のびやかさがみられないものが多く、中には、その場で皮膚にへばりついたヨロイ（糞の塊）を金ダシで取り除いているものもあった。今後が思いやられることが多い新年の市場であった。

「めでたさも、中くらいなり、子牛競り」

それにしても、もっと頑張らなければ、こんなに多くの人たちが市場にやってきてくれるのに、期待に応えられる牛づくりを「高齢も、攻めの畜産、結いの輪で」がんばろう。

(相談員 工藤 洋一)

第11回 あおもりモーモーマー母ちゃんの集い

1. 開催日時 平成26年3月14日(金) 12:00~15:00 (受付11:30~)
2. 開催場所 奥入瀬 森のホテル
十和田市法量字焼山36-20 TEL 0176-70-5000
3. 参加費 2,000円(昼食代含む)

4. 講演
「稲発酵飼料SGSを使ってみよう」
 講師：福沢 秀雄 氏(十和田市、和牛繁殖農家)
 最近話題の飼料米を発酵させた飼料を実際に生産、利用している福沢さんを招いて
 使ってみた感想をお話してもらいます。

- 「フラダンスで健康な体づくり」**
 講師：ハイビス フラ 代表 下山 恭美子 氏
 冬で運動不足になっていませんか？簡単なフラダンスで、みんなで楽しく汗をかきましょう！
 (普段着でもできる簡単なフラです。少し動きやすい格好でお越し下さい)

相談コーナー

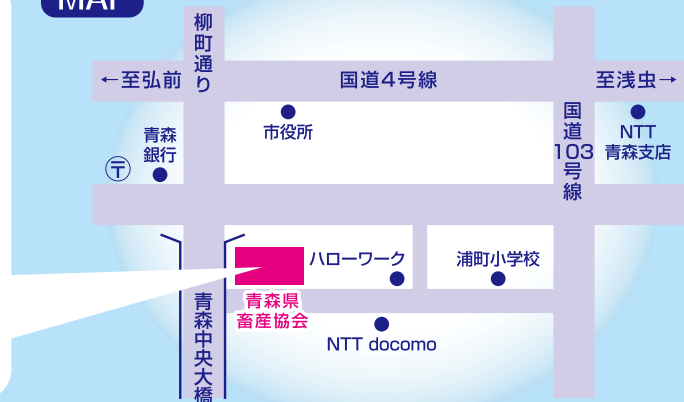
- 畜産なんでも相談コーナー
 - 健康な体づくりコーナー
- 美容コーナーやプチセラピーもあります。お楽しみに♪

5. お申し込み 3月7日(金)まで畜産協会へ申込して下さい。

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 TEL(017)723-2523(代)
 経営支援課 TEL(017)723-2775

価格安定・衛生課

TEL(017)722-4331(衛生)
 TEL(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp